

大自然があふれる 癒しのまち



八幡平

本州最北の国立公園、十和田八幡平は広大な面積と何万年もの長い時間をかけてつくりだされた豊かな自然を体感できる名勝地として知られています。

標高1,614mの八幡平は、ブナやアオモリトドマツなどの

壮大な樹海とミズバショウやニッコウキスゲなどの高山植物が鮮やかに咲き誇る湿原、火山活動によって形成された火口湖など壮大なパノラマが幾重にも広がります。

八幡平アスピーテライン沿いにある「大沼」は、遊歩道が整備されており、春はミズバショウやワタスゲなどの高山植物の群生、秋はダケカンバ、ナナ

カマドなどの美しい紅葉を楽しむことができます。周辺にはキャンプ場やビジターセンターが隣接しており、八幡平の大自然を満喫できます。



癒しの温泉郷・滝スポット



十和田八幡平の美しい山々と溪流に抱かれた本市は、効能豊かな名泉の宝庫です。

最も高い標高にある八幡平温泉郷には、アスピーテライン沿いに大沼、後生掛、大深蒸ノ湯など野趣あふれる温泉が点在し、大自然の中の秘湯として多くの方に親しまれています。

米代川の溪流に沿つて開けた湯瀬温泉郷は、情緒ある閑静な温泉郷で、川の瀬からも湯が湧くことからその名がついたといわれています。近くの湯瀬渓谷には、春の新緑や秋の紅葉

を楽しめる散策路が整備されています。

十和田湖の南玄関口にあたる大湯温泉郷は、約800年前の開湯と伝わる名湯で、旅館・温泉施設が充実しており、十和田湖観光の拠点となっています。また、十和田湖に向かう国道103号線沿いの大湯川とその支流にはたくさんの滝が点在し、神秘的な光景を楽しめます。

大湯の中滝や八幡平の大沼には森林セラピードが整備され、希望者には自然を熟知したガイドが案内を行っています。

大湯の中滝や八幡平の大沼には森林セラピードが整備され、希望者には自然を熟知したガイドが案内を行っています。

